

暮らしの玉手箱セミナー

暮らしが変わる、自分が変わる、世界が変わる。

そんな出会いの場を提供するアステンのトークイベント「暮らしの玉手箱セミナー」。

今回のテーマはエネルギーとアロマ。

発見盛りだくさんのイベントをレポート!



たけうち すみこ

竹内 純子さん

profile

筑波大学客員教授。NPO法人国際環境経済研究所理事・主席研究員。エネルギー問題を分かりやすく解説した著書「誤解だらけの電力問題」(ウェッジ出版)が第35回(2015年)エネルギーフォーラム賞普及啓発賞を受賞。アステンでコラム「エネルギーの玉手箱」を執筆中。



うことがあったこと、節電の重要性は意識していただきたいですね。

鬼頭 電気料金の推移は、皆さん気になるところだと思います。

竹内 東日本大震災以降2015年半ばまでに、日本の電気料金は最大で、一般家庭で約25%、企業で約40%も上がりました。火力発電に用いる化石燃料の輸入が増大していることに加え、再生可能エネルギー(再エネ)の賦課金も増えているからです。

鬼頭 賦課金って、全国民が再エネを応援する制度ですよ?

竹内 そうです。導入当時は毎月数十円程度でしたが、最近是一般家庭で毎月約700円が電気料金と一緒に徴収されています。ドイツは同じような制度で電力の33%(2017年速報値)を再エネで賄うまでになりましたが、賦課金が年間3万円程度まで膨らみ、負担の軽減が課題となっています。

鬼頭 日本もそうなりますか?

竹内 今の状態が続けばそうなるでしょう。海外では再エネのコストは下がっているのですが、日本は特に高いので。

鬼頭 難しい問題ですね。

竹内 まずは、エネルギー問題をみんなで考えることが大切だと思います。再エネ、火力、水力、原子力を含め、国内の電気をどんな構成で賄うのがベストか。それをみんなで議論する必要があります。

鬼頭 エネルギーミックスですね?

竹内 そうです。安全性を大前提に、CO₂の排出量、発電コスト、エネルギー自給率(※2)、安定性など、いろいろな側面から発電方法を捉えて構成比を考えていかないと、日本のエネルギー事情は立ちゆかなくなります。

鬼頭 やっぱ原子力発電は今後も必要でしょうか?

竹内 原子力発電で事故が起これば甚大な被害をもたらすことが、福島の実験で明らかになりました。ただ、社会のリスクは多様で、温暖化やエネルギー自給率の低下、電気料金の高騰による日常生活の圧迫もそれぞれリスクです。そんなリスクも考えながら、「では、原子力ってどうなの?」と考えることは必要でしょう。

鬼頭 静岡県には浜岡原子力発電所があります。

竹内 例えば、中部電力では浜岡の安全対策をバーチャルで体感できる「浜岡VR」アプリ(左下参照)を公開しています。こうした情報なども得ながら、原子力発電のことを考えてみるのもよいでしょう。エネルギー問題は暮らし、環境、仕事のすべてに関わるので、無関心はよくありません。皆さんも身近なところからエネルギーのことを考えてください。

※1.供給予備率:電力需要に対する供給予備力(=供給力の余力)の比率。適正な予備率8~10%が安定供給の目安。※2.エネルギー自給率:国内に必要な資源を自国で賄える割合。日本はわずか7%程度しかない。



左/2人のトークセッションに聞き入る参加者。「とても分かりやすかった」という感想が多かった 右/日本の電源構成比を語る竹内さん。水力を除く再エネは3.2%と伸長傾向だが、それに伴って賦課金も増大している

無関心はダメ! みんなでエネルギーを考えて

今回のセミナーには静岡県中部エリアの女性約50人が参加した。

イベントの前半は、アステンの人気コラム「エネルギーの玉手箱」を連載している竹内純子さんとフリーキャスターの鬼頭里枝さんによるトークセッション。分かりにくいエネルギー問題を女性の視点で語り合った。

竹内 この冬に節電を考えたことはありますか?

鬼頭 節電ってエアコンを頻繁に使う夏のイメージなので、冬に考えたことはないかも。

竹内 1月末から2月初旬の寒波の時には、他社から電力の融通を受けなければ東京電力管内で供給予備率(※1)が1%を切ってしまうと想定された日もあったんです。

鬼頭 夏だけではないんですね。

竹内 実は10年に1回程度の猛暑や厳冬によって需要が急増した場合に備えて、工場などの電気を停止してもらう契約をしている大口ユーザーに電気の利用を止めてもらうなどしてうまくしのぎましたが、こ



きとう りえ
鬼頭 里枝さん

profile

元静岡放送アナウンサー。現在はフリーキャスターとして「Sole いいね!」「静岡発そこ知り」などに出演。SBSラジオの「テキストナイト!」ではメインパーソナリティを務める。飾らない人柄で親しまれ、愛称は「キトちゃん」。浜松市出身。



ティータイムにふるまわれたケーキセット

抽選で「VRスコープ」プレゼント!



中部電力が抽選で500人に「VR(バーチャルリアリティ)スコープ」をプレゼント。VR映像視聴にはアプリをダウンロードしたスマートフォンとスコープが必要。3/11(日)締め切り。応募は中部電力HPから。



中部電力 イベント 検索



アロマの香りで癒やされる

後半はアロマセラピストの藤浪圭美さんを講師に招き、エッセンシャルオイルを用いたリラクゼーションセミナーが行われた。藤浪さんが用意した20種類のエッセンシャルオイルの香りを体験した上で、家庭でできるアロマフレッシュナー作りに挑戦。レモン&ミントの爽やかな香り、またはラベンダー&オレンジの落ち着きある香りのいずれかをチョイスし、ピーカーやスポイトを使って実験気分!会場には柔らかな香りがあふれ、参加者は和やかにセミナーを楽しんだ。



左上/アロマセラピストの藤浪圭美さん。SBS学苑でも講師を務める 左下/アロマの調合を体験。できたエアフレッシュナーは持ち帰ることで好評だった 右/エッセンシャルオイルの香りを楽しむ参加者



身近なところから始める新しい暮らし。暮らしの玉手箱セミナーは明日にちょっとした変化をもたらしてくれそうだ。